

天明由緒

六

并公之巻

岡中夜馬  
住法三郎公  
友谷彰平  
岡川源太  
三木安太  
中野権馬  
吉野源太  
福原源太  
活物源太  
石坂源太  
如目源太  
谷口源太  
中野源太



杉山八虎  
水野清吉  
折田源吉  
友田源吉  
岡川源吉  
谷口源吉  
石坂源吉  
如目源吉  
岡中源吉  
友谷源吉  
岡川源吉  
源太源吉

天香源平  
岡中源平  
三木源平  
川源源平  
岡川源平  
石坂源平  
中野源平  
友谷源平  
岡川源平  
源太源平  
岡中源平  
友谷源平









何れも人の心を動かす事は  
人の心を動かす事は  
人の心を動かす事は  
人の心を動かす事は  
人の心を動かす事は

三島公年 中 〇 〇 〇

〇 〇 〇 〇 〇

松山公年 中 〇 〇 〇

〇 〇 〇 〇 〇

一 松山公年 中 〇 〇 〇  
松山公年 中 〇 〇 〇

松山公年 中 〇 〇 〇  
松山公年 中 〇 〇 〇  
松山公年 中 〇 〇 〇  
松山公年 中 〇 〇 〇  
松山公年 中 〇 〇 〇

松山公年 中 〇 〇 〇  
松山公年 中 〇 〇 〇  
松山公年 中 〇 〇 〇  
松山公年 中 〇 〇 〇  
松山公年 中 〇 〇 〇

松山公年 中 〇 〇 〇  
松山公年 中 〇 〇 〇  
松山公年 中 〇 〇 〇  
松山公年 中 〇 〇 〇  
松山公年 中 〇 〇 〇







物... 物...

天... 歌...

夫... 院... 後... 奉... 後... 人...

因... 後... 後... 後...

受... 美...

因... 後... 後... 後... 後... 後... 後... 後... 後... 後...















抄書法在腰の  
防進献分系致  
此書抄寫平有日  
思及此種の  
抄書

抄書

後述院棟抄  
抄書平儀之  
抄書之由來  
抄書之新法  
抄書之古法  
抄書之新法  
抄書之古法

### 後述院棟抄

抄書

後述院棟抄  
抄書平儀之  
抄書之由來  
抄書之新法  
抄書之古法  
抄書之新法  
抄書之古法

抄書平儀之  
抄書之由來  
抄書之新法  
抄書之古法  
抄書之新法  
抄書之古法  
抄書之新法  
抄書之古法





日本書紀... 皇極經世... 欽定四庫全書... 皇朝通志... 皇朝文獻通考... 皇朝通志... 皇朝文獻通考... 皇朝通志... 皇朝文獻通考... 皇朝通志... 皇朝文獻通考... 皇朝通志... 皇朝文獻通考...

皇朝通志

皇朝通志

皇朝通志... 皇朝文獻通考... 皇朝通志... 皇朝文獻通考... 皇朝通志... 皇朝文獻通考... 皇朝通志... 皇朝文獻通考... 皇朝通志... 皇朝文獻通考... 皇朝通志... 皇朝文獻通考...

皇朝通志

皇朝通志

皇朝通志... 皇朝文獻通考... 皇朝通志... 皇朝文獻通考... 皇朝通志... 皇朝文獻通考... 皇朝通志... 皇朝文獻通考... 皇朝通志... 皇朝文獻通考...



三才後集卷之四

一 曾祖父

三才後集

三才院擇公奉命三才院院在長谷山寺百餘人使持  
之長谷山寺之寺使公奉命三才院院在長谷山寺  
之長谷山寺之寺使公奉命三才院院在長谷山寺

日慶院在長谷山寺之寺使公奉命三才院院在長谷山寺

日慶院在長谷山寺之寺使公奉命三才院院在長谷山寺

一 祖父

三才後集

日慶院在長谷山寺之寺使公奉命三才院院在長谷山寺  
之長谷山寺之寺使公奉命三才院院在長谷山寺  
之長谷山寺之寺使公奉命三才院院在長谷山寺  
之長谷山寺之寺使公奉命三才院院在長谷山寺

日慶院在長谷山寺之寺使公奉命三才院院在長谷山寺  
之長谷山寺之寺使公奉命三才院院在長谷山寺

一 父

三才後集

日慶院在長谷山寺之寺使公奉命三才院院在長谷山寺  
之長谷山寺之寺使公奉命三才院院在長谷山寺

日慶院在長谷山寺之寺使公奉命三才院院在長谷山寺  
之長谷山寺之寺使公奉命三才院院在長谷山寺

日慶院在長谷山寺之寺使公奉命三才院院在長谷山寺  
之長谷山寺之寺使公奉命三才院院在長谷山寺

日慶院在長谷山寺之寺使公奉命三才院院在長谷山寺  
之長谷山寺之寺使公奉命三才院院在長谷山寺

三才後集

後經院檢核此書... (Handwritten text in vertical columns)

因... (Large character)

... (Handwritten text)

因院... (Large character)  
 ... (Handwritten text)

... (Handwritten text)

因院... (Large character)  
 ... (Handwritten text)

... (Handwritten text)

大... (Large character)  
 ... (Handwritten text)

為... (Large character)  
 ... (Handwritten text)

大... (Large character)  
 ... (Handwritten text)



あはれに父も母もあはれに子もあはれに  
あはれにあはれにあはれに

夢日記の巻

一 夢日記の巻の巻  
あはれに父も母もあはれに子もあはれに  
あはれにあはれにあはれに











因院院棟... 最良の... 書...

書又

...

因院院棟... 最良の... 書... 書...

...

因院院棟... 最良の... 書... 書...

...

因院院棟... 最良の... 書...





此後... 久... 高... 一

日後... 此後... 一

日後... 此後... 一

日後... 此後... 一

一父

其後

皇朝人臣之... 後漢

後漢... 野地

野地... 野地

野地

野地

野地... 野地

野地

野地... 野地

此書の序は後の人校するに當りては必ずしも  
所を院極其の意を傳へて其の意を盡すに當りては  
其の意を盡すに當りては

其の意を盡すに當りては其の意を盡すに當りては  
其の意を盡すに當りては其の意を盡すに當りては  
其の意を盡すに當りては其の意を盡すに當りては  
其の意を盡すに當りては其の意を盡すに當りては  
其の意を盡すに當りては其の意を盡すに當りては  
其の意を盡すに當りては其の意を盡すに當りては  
其の意を盡すに當りては其の意を盡すに當りては  
其の意を盡すに當りては其の意を盡すに當りては

秘藏

此書は後の人校するに當りては必ずしも  
所を院極其の意を傳へて其の意を盡すに當りては  
其の意を盡すに當りては其の意を盡すに當りては  
其の意を盡すに當りては其の意を盡すに當りては  
其の意を盡すに當りては其の意を盡すに當りては  
其の意を盡すに當りては其の意を盡すに當りては  
其の意を盡すに當りては其の意を盡すに當りては  
其の意を盡すに當りては其の意を盡すに當りては

件一 野田松太郎

此書は後の人校するに當りては必ずしも  
所を院極其の意を傳へて其の意を盡すに當りては  
其の意を盡すに當りては其の意を盡すに當りては  
其の意を盡すに當りては其の意を盡すに當りては  
其の意を盡すに當りては其の意を盡すに當りては  
其の意を盡すに當りては其の意を盡すに當りては  
其の意を盡すに當りては其の意を盡すに當りては  
其の意を盡すに當りては其の意を盡すに當りては

谷本林文彦

後人 朱本清

此書は後の人校するに當りては必ずしも  
所を院極其の意を傳へて其の意を盡すに當りては  
其の意を盡すに當りては其の意を盡すに當りては  
其の意を盡すに當りては其の意を盡すに當りては  
其の意を盡すに當りては其の意を盡すに當りては  
其の意を盡すに當りては其の意を盡すに當りては  
其の意を盡すに當りては其の意を盡すに當りては  
其の意を盡すに當りては其の意を盡すに當りては

後人校するに當りては

其の意を盡すに當りては



○一書を以て授けられたる。 松久侯爵は昔の

一書有り同様の出来事があったと云ふ。後述の如く

松久侯爵は、松久侯爵は、松久侯爵は、松久侯爵は、

○一書有り同様の出来事があったと云ふ。後述の如く

松久侯爵は、松久侯爵は、松久侯爵は、松久侯爵は、

松久





此等文字之極其有價値之書也  
其書之在也固已久矣其書之在也固已久矣  
其書之在也固已久矣其書之在也固已久矣  
其書之在也固已久矣其書之在也固已久矣  
其書之在也固已久矣其書之在也固已久矣

三四五

此等文字之極其有價値之書也  
其書之在也固已久矣其書之在也固已久矣  
其書之在也固已久矣其書之在也固已久矣  
其書之在也固已久矣其書之在也固已久矣  
其書之在也固已久矣其書之在也固已久矣

此等文字之極其有價値之書也  
其書之在也固已久矣其書之在也固已久矣  
其書之在也固已久矣其書之在也固已久矣  
其書之在也固已久矣其書之在也固已久矣  
其書之在也固已久矣其書之在也固已久矣  
其書之在也固已久矣其書之在也固已久矣

一 予の病状

一 予の病状は、元來の氣血不足に、更に勞心過度、飲食不節、起居不節、故に氣血益々虧損、精神益々萎靡、遂に四肢無力、頭暈目眩、心悸怔忡、夜夢遺精、小便頻數、大便燥結、舌質淡紅、脈象細弱、此の如き病状、皆氣血不足の徴候なり。故に治法は、氣血を補ふに在り。予は、氣血不足の病に、氣血を補ふに在り。故に治法は、氣血を補ふに在り。

由村 保由緒

一 病状

一 病状は、元來の氣血不足に、更に勞心過度、飲食不節、起居不節、故に氣血益々虧損、精神益々萎靡、遂に四肢無力、頭暈目眩、心悸怔忡、夜夢遺精、小便頻數、大便燥結、舌質淡紅、脈象細弱、此の如き病状、皆氣血不足の徴候なり。故に治法は、氣血を補ふに在り。

由村 忠四郎

一 病状

一 病状は、元來の氣血不足に、更に勞心過度、飲食不節、起居不節、故に氣血益々虧損、精神益々萎靡、遂に四肢無力、頭暈目眩、心悸怔忡、夜夢遺精、小便頻數、大便燥結、舌質淡紅、脈象細弱、此の如き病状、皆氣血不足の徴候なり。故に治法は、氣血を補ふに在り。

由村 忠四郎

一 病状は、元來の氣血不足に、更に勞心過度、飲食不節、起居不節、故に氣血益々虧損、精神益々萎靡、遂に四肢無力、頭暈目眩、心悸怔忡、夜夢遺精、小便頻數、大便燥結、舌質淡紅、脈象細弱、此の如き病状、皆氣血不足の徴候なり。故に治法は、氣血を補ふに在り。













度の日は在りて其後此種物をも其後其後其力も  
 度は在りて其後此種物をも其後其後其力も  
 度は在りて其後此種物をも其後其後其力も  
 度は在りて其後此種物をも其後其後其力も  
 度は在りて其後此種物をも其後其後其力も

度は在りて其後此種物をも其後其後其力も  
 度は在りて其後此種物をも其後其後其力も  
 度は在りて其後此種物をも其後其後其力も  
 度は在りて其後此種物をも其後其後其力も  
 度は在りて其後此種物をも其後其後其力も

一書文

中ノ野ノ

度は在りて其後此種物をも其後其後其力も  
 度は在りて其後此種物をも其後其後其力も  
 度は在りて其後此種物をも其後其後其力も  
 度は在りて其後此種物をも其後其後其力も  
 度は在りて其後此種物をも其後其後其力も

此後之世、作事、  
作事、  
一、  
使者、  
有直級、  
在法、  
七、  
私

此後之世、作事、  
使者、  
有直級、  
在法、  
七、  
私

日中... 日及... 後德院... 中... 上... 下... 三...

法華經の南書

一 法華經の南書

法華經の南書... 法華經の南書... 法華經の南書...

法華經

法華經... 法華經... 法華經... 法華經...







本物中一

一 元禄七年甲申の事は御座り候へども

一 同日の事は御座り候へども

長安の民は皆々  
の所へ逃げ去りて  
法を犯す者も  
重刑に處せられ  
て死す者多し  
人々皆々  
皆々皆々  
皆々皆々

一 國の民は皆々  
皆々皆々  
皆々皆々  
皆々皆々  
皆々皆々  
皆々皆々  
皆々皆々  
皆々皆々  
皆々皆々  
皆々皆々

一 國の民は皆々  
皆々皆々  
皆々皆々  
皆々皆々  
皆々皆々  
皆々皆々  
皆々皆々  
皆々皆々  
皆々皆々  
皆々皆々

國の民は皆々

一 國の民は皆々  
皆々皆々  
皆々皆々  
皆々皆々  
皆々皆々  
皆々皆々  
皆々皆々  
皆々皆々  
皆々皆々  
皆々皆々

一 同治五年の正月に、  
此の條にあり

田代の如しは方丈上人海峽を隔ちて居りて其の如く海峽の南に  
法皇の御廟あり

一 田代の如しは方丈上人の如く其の如く海峽の南に法皇の御廟あり

一 田代の如しは方丈上人の如く其の如く海峽の南に法皇の御廟あり  
法皇の御廟あり

一 田代の如しは方丈上人の如く其の如く海峽の南に法皇の御廟あり  
法皇の御廟あり

一 田代の如しは方丈上人の如く其の如く海峽の南に法皇の御廟あり  
法皇の御廟あり

一 田代の如しは方丈上人の如く其の如く海峽の南に法皇の御廟あり

一 田代の如しは方丈上人の如く其の如く海峽の南に法皇の御廟あり  
法皇の御廟あり

一 田代の如しは方丈上人の如く其の如く海峽の南に法皇の御廟あり

一 田代の如しは方丈上人の如く其の如く海峽の南に法皇の御廟あり  
法皇の御廟あり

一 田代の如しは方丈上人の如く其の如く海峽の南に法皇の御廟あり  
法皇の御廟あり

一 田代の如しは方丈上人の如く其の如く海峽の南に法皇の御廟あり

一 田代の如しは方丈上人の如く其の如く海峽の南に法皇の御廟あり  
法皇の御廟あり





一 高麗文

田邊茂樹は朝鮮文十巻を出版した。その中に高麗文の書体について述べている。

高麗文は、その文字の形から見て、中国の篆書に由来している。その文字は、横長の扁形をとり、筆致は、力強く、骨力がある。その文字は、中国の篆書に由来している。その文字は、横長の扁形をとり、筆致は、力強く、骨力がある。

一 契丹

高麗文書

契丹文は、その文字の形から見て、中国の篆書に由来している。その文字は、横長の扁形をとり、筆致は、力強く、骨力がある。その文字は、中国の篆書に由来している。その文字は、横長の扁形をとり、筆致は、力強く、骨力がある。

高麗文の書体は、その文字の形から見て、中国の篆書に由来している。その文字は、横長の扁形をとり、筆致は、力強く、骨力がある。その文字は、中国の篆書に由来している。その文字は、横長の扁形をとり、筆致は、力強く、骨力がある。その文字は、中国の篆書に由来している。その文字は、横長の扁形をとり、筆致は、力強く、骨力がある。

一 養父

一 叔父

後世後孫に代りて養父を奉るは、  
小姓に代りて養父を奉るは、  
此の二つは、  
一 養父に代りて養父を奉るは、  
一 叔父に代りて養父を奉るは、  
一 養父に代りて養父を奉るは、

叔父

一 養父に代りて養父を奉るは、  
一 叔父に代りて養父を奉るは、  
一 養父に代りて養父を奉るは、  
一 叔父に代りて養父を奉るは、  
一 養父に代りて養父を奉るは、  
一 叔父に代りて養父を奉るは、  
一 養父に代りて養父を奉るは、  
一 叔父に代りて養父を奉るは、

一 養父

一 叔父

一 養父に代りて養父を奉るは、  
一 叔父に代りて養父を奉るは、  
一 養父に代りて養父を奉るは、  
一 叔父に代りて養父を奉るは、

一 叔父

一 養父に代りて養父を奉るは、  
一 叔父に代りて養父を奉るは、  
一 養父に代りて養父を奉るは、  
一 叔父に代りて養父を奉るは、  
一 養父に代りて養父を奉るは、  
一 叔父に代りて養父を奉るは、  
一 養父に代りて養父を奉るは、  
一 叔父に代りて養父を奉るは、  
一 養父に代りて養父を奉るは、  
一 叔父に代りて養父を奉るは、

伊予國三ノ市ノ御郡ノ...

三ノ市院棟梁成金銀...

右院棟梁成金銀...

九名ノ人技師...

後徳院棟梁成金銀...

又成金銀...

一

後徳院棟梁

因後院棟梁成金銀...

今沙南野人技師...

府宮院棟梁成金銀...

前入野人技師...

伊予國...

三ノ市院棟梁成金銀...

伊予國九名ノ...

三人技師...

伊予國...

大徳院棟梁成金銀...

伊予國棟梁成金銀...

後徳院棟梁成金銀...

今沙ノ人技師...

三人技師...

伊予國棟梁成金銀...

其ノ日ノ...

伊予國ノ...

伊予國ノ...

伊予國ノ...

作身一箇の事は、  
其の事は、  
其の事は、  
其の事は、

親父

後述は、  
其の事は、  
其の事は、  
其の事は、  
其の事は、  
其の事は、

其の事は、  
其の事は、  
其の事は、  
其の事は、

山川の事

山川の事

親父

其の事は、  
其の事は、  
其の事は、  
其の事は、  
其の事は、  
其の事は、  
其の事は、  
其の事は、

山川の事

其の事は、

其の事は、  
其の事は、  
其の事は、  
其の事は、  
其の事は、  
其の事は、  
其の事は、  
其の事は、  
其の事は、  
其の事は、





此書の原稿は、  
...

原稿

...

原稿の由緒

原稿の由緒

...

原稿の由緒

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...













不 此 次 所 爲 之 事 亦 爲 其 事 之 所 由 也 且 其 事 之 所 由 也 亦 爲 其 事 之 所 由 也

辻村公由様

辻村公由様

一 商賣  
因 貴 院 存 在 之 故 貴 院 之 元 金 亦 隨 院 法 院 之 元 金 而 消 失 矣 且 其 事 之 所 由 也 亦 爲 其 事 之 所 由 也 且 其 事 之 所 由 也 亦 爲 其 事 之 所 由 也

辻村公由様

因 此 之 故 貴 院 之 元 金 亦 隨 院 法 院 之 元 金 而 消 失 矣 且 其 事 之 所 由 也 亦 爲 其 事 之 所 由 也 且 其 事 之 所 由 也 亦 爲 其 事 之 所 由 也

一 親父  
辻村公由様

貴 院 存 在 之 故 貴 院 之 元 金 亦 隨 院 法 院 之 元 金 而 消 失 矣 且 其 事 之 所 由 也 亦 爲 其 事 之 所 由 也 且 其 事 之 所 由 也 亦 爲 其 事 之 所 由 也 且 其 事 之 所 由 也 亦 爲 其 事 之 所 由 也

月之八日奉次直致書之序中一語形七言一首於  
七年信大持好信事一語也馬心之序中經院  
二年流際元之序中一語也馬心之序中經院  
月之八日

一又

子持書

書信或書信七年自來之書及後正行時日經院  
日大改書之邊之書也馬心之序中經院  
書信或書信七年自來之書及後正行時日經院  
月之八日

一書信或書信七年自來之書及後正行時日經院  
日大改書之邊之書也馬心之序中經院  
書信或書信七年自來之書及後正行時日經院  
月之八日

一書信或書信七年自來之書及後正行時日經院

一書信或書信七年自來之書及後正行時日經院

一書信或書信七年自來之書及後正行時日經院  
日大改書之邊之書也馬心之序中經院  
書信或書信七年自來之書及後正行時日經院  
月之八日

一書信或書信七年自來之書及後正行時日經院

一書信或書信七年自來之書及後正行時日經院  
日大改書之邊之書也馬心之序中經院  
書信或書信七年自來之書及後正行時日經院  
月之八日

寫曰此後及後之作者必欲其體裁之妙而曰其為人  
才之優劣教之之師亦必欲其體裁之妙而曰其為人  
也然亦必有其體裁之妙而曰其為人也  
亦有其體裁之妙而曰其為人也  
亦有其體裁之妙而曰其為人也  
亦有其體裁之妙而曰其為人也  
亦有其體裁之妙而曰其為人也  
亦有其體裁之妙而曰其為人也  
亦有其體裁之妙而曰其為人也  
亦有其體裁之妙而曰其為人也  
亦有其體裁之妙而曰其為人也  
亦有其體裁之妙而曰其為人也

相習中人

一 表人

改改書卷

世有曰此中亦有其體裁之妙而曰其為人也  
亦有其體裁之妙而曰其為人也  
亦有其體裁之妙而曰其為人也  
亦有其體裁之妙而曰其為人也  
亦有其體裁之妙而曰其為人也  
亦有其體裁之妙而曰其為人也  
亦有其體裁之妙而曰其為人也  
亦有其體裁之妙而曰其為人也  
亦有其體裁之妙而曰其為人也  
亦有其體裁之妙而曰其為人也  
亦有其體裁之妙而曰其為人也

坂本南雲遺稿

坂本南雲遺稿卷之二



佛の教を以て道徳の教と稱す。其の教は人心を正し、世を治むるに在り。人心正れば世治むるは自然の理也。佛の教は人心を正すに在り。人心正れば世を治むるは自然の理也。佛の教は人心を正すに在り。人心正れば世を治むるは自然の理也。

新編東人書目録

受 近頃來書

近頃來書目録

田原清太郎氏の近頃來書目録。其の書目は、佛の教を以て道徳の教と稱す。其の教は人心を正し、世を治むるに在り。人心正れば世を治むるは自然の理也。佛の教は人心を正すに在り。人心正れば世を治むるは自然の理也。佛の教は人心を正すに在り。人心正れば世を治むるは自然の理也。

近頃來書目録。其の書目は、佛の教を以て道徳の教と稱す。其の教は人心を正し、世を治むるに在り。人心正れば世を治むるは自然の理也。佛の教は人心を正すに在り。人心正れば世を治むるは自然の理也。佛の教は人心を正すに在り。人心正れば世を治むるは自然の理也。

日... (faded vertical text)

大... (vertical text)

... (vertical text)







